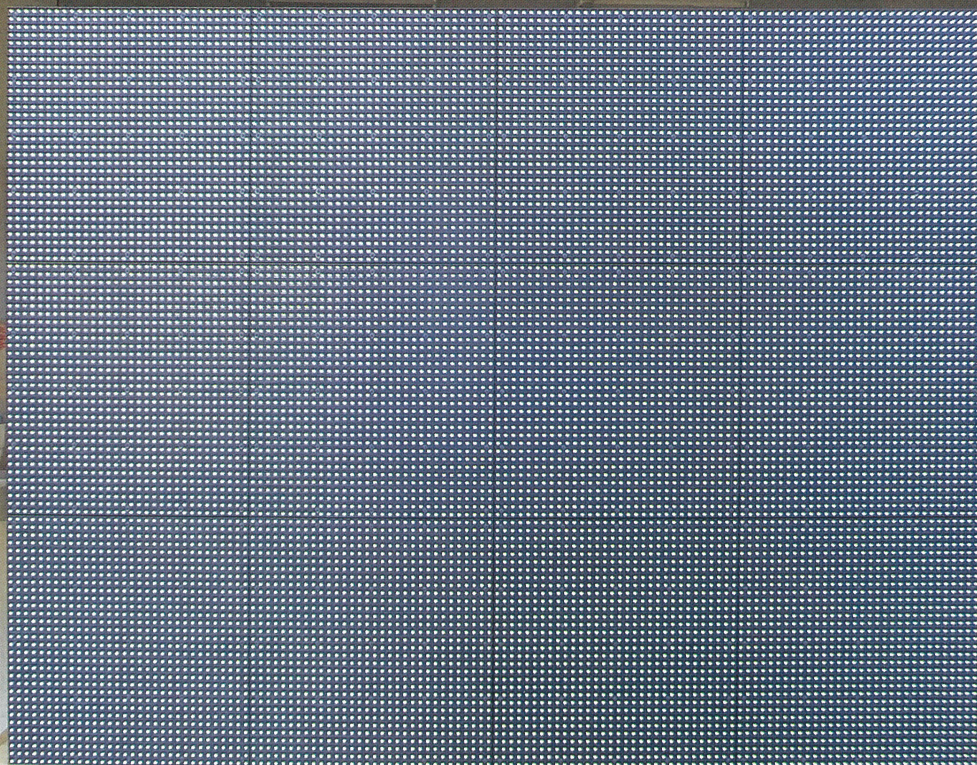




大型LEDディスプレイ筐体開発に 伴う作業改善による製造力強化

平成25年度 補正予算事業

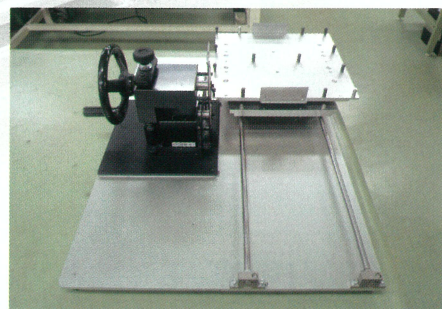


実施した事業の概要と成果

当社では主に大型ディスプレイ用の部品であるLEDパネルの製造を行っているが、これまではパネル単体での製造であったため、様々な課題があった。今回、大型ディスプレイの筐体設計から組立までの一貫生産体制を構築し事業拡大を図る為、設備投資によって作業効率の改善を推進し生産性の向上を目指した。

基盤分割機等の生産用機器、治具類、エージング装置等の検査機器等を導入し一貫生産体制が確立でき、生産効率も大幅に向上したことで高付加価値の製品を製造することが可能になった。

今後リオオリンピックなどで受注量の増加が見込まれており、既存取引先へのアピールはもちろん、新規取引先を開拓すべく積極的な営業活動を行っていききたい。



基盤分割機



エージング装置



技術開発や課題解決への取り組み

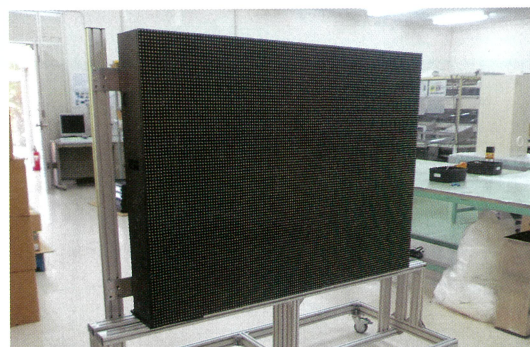
従来のLEDパネルを単体で生産する方式では①ラインバランスが取りづらい②生産能力の不足から機会損失が生じる③筐体部分を外注していたためコストがかかる、などの課題があり収益確保が難しかった。

そこでこれらの課題を解決するために生産用設備、治工具を導入し、生産ラインを整備し、また併せてハーネス加工用設備を導入することで一貫生産体制を構築し付加価値の高い製品製造に取り組んだ。

また複数種類の仕様の機械装置を導入し、近年増加している多品種小ロットの受注へ対応する体制を整えることができた。



作業風景



機器取り付け・配線

事業者 有限会社 ナンカ

代表者 取締役 上蘭 守

設立年月 平成18年4月

所在地等 〒8971302
南さつま市笠沙町赤生木11372番地334
TEL: 0993-63-0204
FAX: 0993-63-0240

事業区分 ものづくり技術

資本金額 300万円

従業員数 20人

業 種 電気機械器具製造業

有限会社 ナンカ の

生魂
いっだまし

取締役
上蘭 守



補助事業取り組みへのきっかけ・目的は？

これまで、取引企業の生産計画のもと、大型ディスプレイ用部品であるLEDパネルの組立・検査を行っていたが、単体毎での生産ではコストダウンできず、収益確保が難しい傾向にあった。

そこでハーネス加工、駆動電源回路の組立、ケーブル配線などを改善することで生産効率を向上させ、製造力の強化につなげたいとの思いから本事業を実施した。

今後の取り組みは？

本事業により生産力が向上し少量多品種といったニーズに応えられるようになったため、当初の目的は達成できたといえる。また今後、リオオリンピックに向けLEDパネルの需要が増加していく見通しであることに加え、新たな競技場の建設等の際もビジネスチャンスがあると考えている。新規顧客の獲得に向けて積極的なPRを行っていきたい。